

平成 30 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立橋小学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。学校アンケートで「すすんであいさつができています」と答えた児童が増えてきている。これは、とても素晴らしいことであり、今後、割合が更に高まっていくことを期待する。また、「学校見学開放週間」を月 1 回行うなど、開かれた学校づくりを進めてきたことは評価できる。「体力づくり週間」は今後も続けて欲しい。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現

全市共通目標（小・中学校）

○平成 30 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。

○平成 30 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 78%以上にする。

○平成 30 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を、前年度より減少させる。

○平成 30 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を、前年度より減少させる。

学校の年度目標

○平成 30 年度の学校アンケートにおいて、「学校は楽しい」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を 87%以上にする。

○平成 30 年度の学校アンケートにおいて、「自分を大切にしている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を 87%以上にする。

○平成 30 年度の学校アンケートにおいて、「すすんであいさつをする」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を 80%以上にする。

○平成 30 年度の学校アンケートにおいて、「学校は保護者や地域の願いを受け止めて、教育活動を進めている」の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を 80%以上にする。

・達成状況の評価に関しては妥当である。具体的な取組の積み重ねによって、成果が表れており、今後の課題も明確になっている。また、児童アンケート・保護者アンケートを実施し、丁寧に分析し説明されている。

年度目標：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

全市共通目標(小・中学校)

○平成 30 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。

○平成 30 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント減少させる。

○平成 30 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を 2 割以上上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント増加させる。

○平成 30 年度の小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。

○平成 30 年度の全国学力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である（立ち幅跳び、ソフトボール投げ）の平均の記録を、前年度より向上させる。

学校の年度目標

○平成 30 年度の学校アンケートにおいて、「授業はわかりやすい」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を 87%以上にする。

○平成 30 年度の学校アンケートにおいて、「健康な生活を心がけている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を 82%以上にする。

・達成状況の評価に関しては妥当である。大阪市学力経年調査の結果について丁寧に分析し、説明されている。また、課題と改善点が明らかされているので、今後の取組にいかせることが望める。

3 今後の学校園の運営についての意見

- ・子どもたちのことは、保護者や学校はもちろん、地域でも支えていく必要がある。互いにしっかりと連携していかなければならない。
- ・遅刻する児童について、家庭の状況も含め学校が把握に努めてほしい。
- ・意識や考え方を柔軟くしていかなければならない。
- ・先生方はよく頑張っているが、個別支援が必要な児童が多く、十分な支援を行うには人員が不足している。人員を増やすことが必要だと感じた。